

Japanese Society for Day Care Treatment
日本デイケア学会

NEWS No. 11

日本デイケア学会広報委員会
2005年7月15日 発行
日本デイケア学会事務局
〒113-0033 東京都文京区本郷2-4-14
株式会社 キタ・メディア内
TEL: 03-3813-6368
FAX: 03-3813-6368
E-mail: info@daycare.gr.jp
URL: http://www.daycare.gr.jp

障害者自立支援法と通院
医療費公費負担

窪田 彰

2005年2月に、政府は「障害者自立支援法」を国会に上程しました。この法案は、身体障害・知的障害・精神障害の3障害を合同にして、障害施策を行おうというものです。さらに、精神保健福祉法32条の通院医療費公費負担制度の部分の自立支援医療として、この障害者自立支援法に移しこもうというものです。そうして、3障害を通じてサービス利用者には自己負担を一律10%に引き上げるものです。これはデイケアばかりではなく、福祉施設の運営をこれまでの補助金制を出来高制に変え、通所授産施設への通所も単価を決め、例えば、通所費用が1日6,000円ならば毎日600円の自己負担が発生するのです。ただし、低所得者に対しては収入ごとに負担上限の階段を設けて負担軽減を図っています。通院公費負担の新しい名前の「自立支援医療」の対象者及び自己負担の概要は、図1をご覧ください。

ここでいう市町村民税非課税世帯Ⅰは世帯の年間収入が80万円以下、非課税世帯Ⅱは約240万円以下また、所得税額30万円未満は世帯年収が約640万円以下となります。これ以上の世帯年収がある者の場合は、統合失調症・躁うつ病（狭義）・難治性てんかんに

限定した「重度かつ継続」以外は公費負担の対象外になってしまいます。以上が図1の説明です。議論が残るのは、世帯収入という場合の世帯範囲をどう認定するかの問題と、重度かつ継続の範囲の問題です。この点が変われば、対象者の範囲がもう少し広がるものと思われます。もう一つのデイケアに影響する問題は、食事の提供が今後はすべて自己負担になるということです。これは、障害者施設においてはこの障害者自立支援法で規定されますが、医療デイケアでは2006年4月の診療報酬改定で実施されるものと予測されています。自立支援医療に移行することでいっそう複雑な制度になり、患者さんが新制度を理解できるのだろうか、現場が混乱するのではないかと心配になります。それ以上に、自己負担の引き上げにより、外来通院やデイケア通所が中断して病状悪化につながる患者さんが増えるのではないかと危惧されています。本法は、精神科外来医療については2005年10月に実施予定でしたが、国会の通過も都道府県の準備も遅れていますので、7月初旬には2006年1月に実施が延期されました。さらに、国会運営によっては本法の今国会成立も危ぶまれています。今後の動向をご注目ください。

（錦糸町クボタクリニック）

1. 対象者：従来の要支援医療、育成医療、精神通院公費の対象者であって一定所得未満の者（対象疾病は従来の範囲どおり）
2. 給付水準：自己負担については1割負担（□部分）。ただし、所得水準に応じて負担の上限額を設定。また、入院時の食費（標準負担額）については自己負担。

一定所得以下		中間的な所得		一定所得以上 (所得税額 30万円以上)
生活保護 世帯	市町村民税 非課税世帯Ⅰ	市町村民税 非課税世帯Ⅱ	所得税額 30万円未満	
0円	負担上限額 2,500円	負担上限額 5,000円	負担上限額 医療保険の 自己負担限度額（※1）	公費負担の対象外 (医療保険の 負担割合 負担限度額)
			負担上限額 5,000円	負担上限額 20,000円（※3）
			負担上限額 10,000円	

- ※1 育成医療（若い世帯）における一時的な高額医療費発生の場合への経過措置（段階的縮小）を実施する。（施行後3年を経た段階で、医療費の分布、平均負担率等を踏まえ見直す。）
- ※2 再認定を認める場合や拒否する場合の要件については、今後、実証的な研究結果に基づき、制度施行後概ね1年以内に明確にする。

- ※3 ① 当面の重度かつ継続の範囲
・疾病、症状等から対象となる者
精神………統合失調症、躁うつ病（狭義）、難治性てんかん
更生・育成………腎臓機能・小腸機能・免疫機能障害
・疾病等に関わらず、高額な費用負担が継続することから対象となる者
精神・更生・育成………医療保険の多数該当の者
- ② 「一定所得以上」かつ「重度かつ継続」の者に対する経過措置は、施行後3年を経た段階で医療実態等を踏まえ見直す。

図1. 自立支援医療の対象者、自己負担の概要

目次

障害者自立支援法と通院医療費公費負担……………	1
【第10回年次大会特集】	
第10回年次大会のご案内……………	2
大会スケジュール 他……………	3
【デイケア西から東から、北から南から…】	
“ひと”と“ひと”を結ぶ“あそび”……………	4

「聴こう 語ろう 私達の実践」

～越後良寛さんの心と生き方に学ぶ～

会 期 : 平成17年 9月22日(木)・23日(金・祝)・24日(土)

会 場 : ホテル新潟

新潟市万代5-11-20 電話 025-245-3334

新潟駅(万代口より) タクシー5分・徒歩10分

高速道路 新潟西・新潟中央各インターチェンジより約20分

新潟空港 タクシー約20分

大会長 : 松田 ひろし

事務局長 : 藍澤 豊子

第10回年次大会ご案内

日本デイケア学会第10回年次大会を9月22日～24日新潟市にて開催いたします。

今回は、『聴こう、語ろう、私達の実践』を大会のテーマとして、日々のデイケア・デイサービスの実践の場でさまざまな取り組み・工夫・アイデアや悩み事などについて語り合うことを大会の大きな目的としました。

記念講演として、新潟大学教授 染矢俊幸先生より「精神医療の変遷と将来展望」と題してお話を願いました。また、特別講演として新潟大学名誉教授

加藤 信一先生より「良寛さんの心」と題してお話をいただきます。

シンポジウムは高齢者と精神科一般それぞれに企画しました。シンポジウムⅠ「高齢者デイケア・デイサービスの実践と課題」では、今日注目されているパワーリハビリははじめユニークでありながらすぐにでも実践できるさまざまな活動について報告していただきます。シンポジウムⅡ「実践する精神科デイケア」では設立母体の異なるデイケアでの実践や問題について報告してい

たきます。

さらにセミナーを3つ企画しました。高齢者については、たきの里施設長 岩尾貢先生より「多様化するデイケア・デイサービス・その原則」と題して、また精神科一般ではオフィスラマツバ月崎時央先生より「精神障害のある人と一緒に働くということ」と題してそれぞれお話をいただきます。また東京医科大学教授 飯森眞喜雄先生には「芸術医療さまざま」と題してご講演していただきます。

大会3日目はワークショップ(研修会)を開催します。前半に講師の先生方の講義をいただき後半で各テーマごとに意見交換等を行います。

以上盛り沢山の内容となっていますが、ふらつてご参加いただきますようよろしくお願い申し上げます。

大会長 松田 ひろし

《日本デイケア学会第10回年次大会事務局》

〒945-1392 新潟県柏崎市大字茨目字ニツ池2071-1 柏崎厚生病院内 (担当 藍澤 豊子)

TEL : 0257-22-0111 FAX : 0257-22-0112 E-mail : kouseijm@niigata-inet.or.jp

URL : <http://www.niigata-inet.or.jp/ryoukan/>

【大会スケジュール】

9月22日 (木)	8:15~ 9:00	総合受付	
	9:00~ 9:30	開会式	
	9:30~10:10	大会長講演 「デイケアの実践一過去・現在・未来」 大会長 松田ひろし (医療法人立川メディカルセンター 柏崎厚生病院 院長)	
	10:30~11:40	記念講演 「精神医療の変遷と将来展望ー統合失調症治療の今後の方向性について」 染矢俊幸 (新潟大学大学院医歯学総合研究科精神医学分野 教授)	
	12:00~12:50	ミニセミナー「多様化するデイケア・デイサービス・その原則」 岩尾貴 (たきの里 施設長)	
9月23日 (祝金)	13:10~16:10	シンポジウムⅠ【高齢者】 「高齢者デイケア・デイサービスの実践と課題」	一般演題
	16:20~17:50	ポスター【高齢者】 発表	
	18:00~19:30	懇親会 (立食パーティー)	
	8:30~ 9:00	総合受付	
	9:00~11:50	シンポジウムⅡ【精神科】 「実践する精神科デイケア」	一般演題
	12:00~12:50	ミニセミナー 「精神障害のある人と一緒に働くということ」 月崎 時央 (オフィス ラマッパ)	評議委員会及び理事会
	13:00~13:30	総会	
	13:40~14:50	特別講演「良寛さんの心」 加藤 信一 (新潟大学名誉教授)	
	15:00~15:50	ポスター【精神科】 発表	一般演題
	16:00~16:20	閉会式	
	16:35~17:50	イブニングセミナー「芸術療法さまざま」 飯森 眞喜雄 (東京医科大学精神医学教室主任教授)	
9月24日 (土)	9:30~11:30	ワークショップ (精神科)	ワークショップ (高齢者)
		「精神科デイケアにおける導入から卒業まで」 池淵恵美 (帝京大学医学部精神科学 教授)	「街へくり出そうデイ！」 和田行男 (大起エンゼルヘルプ)
		「療法としての園芸の利用と可能性」 山根寛 (京都大学医学部保健学科 教授)	「通所サービスにおける認知症ケアのあり方について」 村山比呂志 (介護老人保健施設てらどまり 副施設長)
		「わが国における精神科デイケア発展の歴史と そこから見た今日的意義・課題」 齋藤敏靖 (東京国際大学人間社会学部福祉心理学 助教授)	「仮設住宅にあるサポートセンターの役割」 佐藤和也 (サポートセンター 千歳)
		「デイケアと災害について」 佐藤満 (中条第二病院 臨床心理士) 原沢節子 (新潟県立 精神医療センター デイケア 精神保健福祉士)	「人生の現役養成道場」 藤原茂 (夢のみずうみ村 山口サービスセンター 理事長)

【参加費について】

- 1) 大会参加費： 一般 事前申込み／7,000円、 一般 当日受付／8,000円
学生 事前申込み／3,000円、 学生 当日受付／4,000円

- 2) ワークショップ (研修会)：2,000円

- 【精神科】 池淵 恵美 (帝京大学医学部 精神科学 教授)
山根 寛 (京都大学医学部 保健学科 教授)
齋藤 敏靖 (東京国際大学 人間社会学部 福祉心理学 助教授)
原沢 節子 (新潟県立 精神医療センター デイケア 精神保健福祉士)
- 【高齢者】 和田 行男 (大起エンゼルヘルプ)
佐藤 和也 (サポートセンター 千歳)
村山 比呂志 (介護老人保健施設 てらどまり 副施設長)
藤原 茂 (夢のみずうみ村 山口サービスセンター 理事長)

- 3) 懇 親 会： 5,000円 (事前申込または当日会場でお申しいただけます)

- 4) お 弁 当： 一食 1,200円 (9月22日木曜日、23日金曜日祝、ご希望の際は事前申込が必要です)

※ ワークショップは定員制となっております。受付は先着順になります。お早めにお申込下さい。
※ ワークショップの可否については、ご請求書にてご確認下さい。(ご請求書は8月中旬にお送り致します)

【事前申込みのご案内】

- 詳しくは別紙「大会参加・宿泊等ご案内」をご覧ください。
- 別紙「大会参加事前申込・宿泊等申込書」に必要事項をご記入の上、下記まで郵送またはFAXでお送り下さい。

<大会参加・宿泊等申込に関するお問い合わせ>

日本旅行新潟支店 担当 藤田 弘 受付時間 平日9:30~17:30

〒951-8065 新潟県新潟市東掘通6番町1050

TEL:025-228-6070 FAX:025-228-6814

締切： 平成17年8月5日(金) 17:00必着

デイケア 西から東から、北から南から…

《デイケア苦労話》

“ひと”と“ひと”を結ぶ “あそび”

原 敬造

当院で精神科デイケアを始めたのは、平成4年です。主に20代の方を対象にしています。その頃、東北地方で精神科デイケアを実施しているところはまだ少数でした。当時は小規模精神科デイケアで一日あたり7名前後の方が治療を受けていました。現在は大規模精神科デイケアで、一日あたり25名前後の方が治療を受けています。

多くのメンバーは、いじめを受けていたり、精神症状からであったり理由は様々ですが、閉じこもりの傾向が強い方たちです。孤立し、閉じこもっているため、同世代の人たちが集団の中で経験する人とのつながり、楽しさを経験することなく時間が過ぎていきます。

こうした方に、精神科デイケアの話をするると、“いじめられる”“人が怖い”“楽しめない”“入れない”“スポーツは苦手”“笑われる”と集団生活で過去に経験した“恐怖の反応”が返ってきます。ここから精神科デイケアでの治療が始まります。マイナスからのスタートなのです。おどおどとしながらも、活動をともにしていくなかで、少しずつ集団にとけ込んでいくようになります。勿論精神科デイケアでは、スタッフ

がグループを支えることで、安全性を保障しています。安全な場で、徐々に集団に馴染んでいくのですが、これまで閉じこもっていたために、些細なトラブルが大きな問題になってきます。“携帯の番号を教えたらよいか”、“どこまで自分のことを話したらよいか”、“誘われたけれど断ったら嫌われるのではないか”等々。人間関係に伴う身近な課題を一步一步経験するなかで、少しずつスキルを身につけていくのです。若年者にとっては、リハビリテーションというよりは、対人関係を学ぶ場、経験する場として精神科デイケアは大きな意味を持っています。

精神科デイケアは“遊んでいるだけでなんになるの”、“治療になるの”との声が聞こえてきます。精神科デイケアに初めて参加する、閉じこもっていた方は、人と一緒にいるだけでも緊張し疲れ切ってしまいます。遊ぶこともままならないのです。一人で遊べても、集団で遊べず、集団生活での負の経験が新たな体験に向かう足を引っ張ってしまいます。遊びを通して様々な体験をし、ルールをまなび、人といふことの楽しさ、心地よさを体験します。あそびは“ひと”と“ひと”の触媒です。

(原クリニック (仙台))

日本デイケア学会入会申込みについて

日本デイケア学会は、デイケアの発展と向上を意図し、学術研究の促進と会員相互の交流の推進を目的に、平成8年に研究会として設立され、その後平成10年に学会に名称変更されました。

現在約800名の会員があり、精神科デイケア、老人デイケア・デイサービスの分野で業務に従事している方が大部分を占めておりますが、今後幅広くその他のデイケアおよび関連分野で活躍されている方々の参加も望まれます。また、年次大会は一昨年は加賀で、昨年は東京で開催されました。今年度は9月に新潟で開催されます。

1. 入会申込

入会申込書、入会案内、会則、および郵便振込用紙をお送りいたしますので、下記事務局までご連絡ください。

2. 入会金および年会費

正会員：入会金1,000円+年会費8,000円=9,000円

団体会員：3名までは、入会金5,000円+年会費20,000円=25,000円

(3名を越えるときは、1名につき年会費5,000円を加算してください)

3. 資格(会則の一部を引用します)

正会員は、医療、保健、福祉、教育等の分野において、デイケアおよび関連業務に従事または従事しようとする個人で、本会の目的に賛同し会費を納めるものとする。

団体会員は、デイケア業務をおこなう団体、施設、法人等で、本会の目的に賛同し会費を納めるものとし、一定数のデイケア従事者を登録することができる。

4. 事務局

〒113-0033 東京都文京区本郷2-4-14 株式会社キタ・メディア内 日本デイケア学会事務局

TEL&FAX: 03-3813-6368 e-mail: info@daycare.gr.jp

URL: <http://www.daycare.gr.jp>